

# OVNだより

～ 第39号 ～

発行日：平成28年7月21日

発行編集：おokayボランティア連絡協議会

『平成20年おokayボランティア連絡協議会植樹の地』に於いて草刈りを実施しました。



6月7日（火）社協の職員の手も借りて、雑木や雑草の生い茂った山を、どんぐりの木だけ残して刈り取りを行いました。植樹して8年経過しましたが、日当たりの良いところでは3メートル位伸びた木も有ります。しかし、日陰のところでは、まだ1メートルと伸びていない木も有りました。アカシアの木や、蔓などを伐採して全体を日当たり良くして、どんぐり林とし、土砂災害の起きない、美しい森としていきたいと考えます。まだまだ完全ではありません。今後も手入れを継続することにより、災害に強い森林となり、防災の一助となることを願っております。

※6月27日（月）平成28年度『岡谷市障害者福祉推進実行委員会総会』が開催されました。昭和56年に発足し、市内83団体で構成されており事業推進に活躍されております。

平成27年度、事業報告及び決算：平成28年度事業計画及び予算について満場一致で賛成されました。『10月29日（土）ふれあい祭り&ボランティア祭り』も決定し、皆様のご協力のもと、笑顔でお迎えし、笑顔でお帰り頂くよう、実行委員一丸となって頑張らしましょう♪

※7月9日（土）『平成18年7月豪雨災害10年伝承事業』と題して、災害に強い安全・安心



の街作りを呼び掛け、災害の記憶をいつまでも忘れることなく教訓や知識を伝承するため、映像で振り返りました。信州大学地域防災減災センター長の菊池聡教授の講演も行われ、防災の心構えや森林管理の必要性など記憶を風化させることのないよう、リスクを楽観的に捉える

傾向があるとし「人間の心には落とし穴があると理解することが備えにつながる」と話されました。

パネル討論は、6人で行われ、行政だけに頼るのではなく、自助の大切さ、隣近所で助け合う互助・共助の取り組み、精神など、地域の団結力が大事とし「御柱祭が地域の団結力向上につながっている。」と感じました。今井市長は、住民・組織・団体・行政が顔の見える関係を大切に、災害の強い街作りに繋がりたいと決意されていました。

📷上2枚の写真は、本沢川最上流の10年前の災害時（左）と全国植樹祭後（右）の同じ場所です。

